

## 田村市指定天然記念物

# 精九郎壇と山毛櫨



田村市滝根町大滝根地内に精九郎壇と山毛櫨（ブナ）は、滝根町と川内村との境界に位置しています。

ブナの根元にある壇は、その昔、境界争いに負け生き埋めにされた精九郎の霊を慰めるため、神俣村と川内村の人々が小石を供えたという伝説に由来し、高さ1<sup>メートル</sup>、直径約8<sup>メートル</sup>の円形をし、無数の小石が積まれた一種の境塚です。

また、樹齢約300年のブナは、胸高周囲3.5<sup>メートル</sup>、樹高10.2<sup>メートル</sup>、全体の枝張り19.3<sup>メートル</sup>の古木です。樹形は西からの強い風に耐えるように全体が傾いています